

科目名	化学演習 I	英語科目名	Exercises I in Chemistry
開講年度・学期	平成 21 年度・前後期	対象学科・専攻・学年	物質工学科 2 年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30 h
担当教員	胸組虎胤	居室（もしくは所属）	物質工学科実験棟 2 階
電話	0285-20-2800	E-mail	munegumi@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストにある少なくとも 20 種類の実験器具の名称を英語で言えること。 2. テキストにある簡単な化合物の名称を英語で書けること。 3. テキスト中の実験操作を記した短い英文を日本語で適切に翻訳できること。 4. テキスト中の実験操作を記した短い英文を読んで、その実験操作の内容を正確に説明できること。 5. テキスト中の演習問題を理解し、正確に解答できること。 6. 英和辞典を使う習慣を身に付けること。 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
各試験にお 60%以上の成績で評価する。 課題に対する提出レポートの内容を設定水準で評価する。			
評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期2回試験(中間と期末)計200点、小テスト3回計90点の合計 290 点満点 ・ 後期2回試験(中間と期末)計200点、小テスト3回計90点の合計 290 点満点 ・ 学年成績は前期と後期の相加平均 			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習の仕方、テキスト前書き、実験の注意、実験器具（1週） 2. テーマ No.1～30(6週) 前期中間試験 3. テーマ No.31～60（7週） 前期期末試験 4. テーマ No.61～90(7週) 後期中間試験 5. テーマ No.91～120（7週） 学年末試験 			
キーワード	英語、化学実験、実験器具、実験操作、物理化学、有機化学、無機化学		
教科書	「注解付化学英語教本」川井（共立出版）		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. エッセンシャル化学辞典、東京化学同人、1999 2. 化学英語の活用辞典、化学同人、1999 3. やさしい化学英語、オーム社、2003 		
小山高専の教育目標	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
なし			
JABEE 基準 1 の（1）との関係	なし		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	化学基礎実験、英語 I		
現学年の関連科目	分析化学実験、英語 I、基礎化学		
次年度以降の関連科目	有機化学、無機化学、物理化学		
連絡事項			
授業前にわからない単語をすべて英和辞典で調べておくこと。			
シラバス作成年月日：平成 21 年 2 月 16 日			